



(題字 小黒千足 学長)

第386号

(平成9年2月号)



▲ 立春：うっすらと雪化粧（事務局前）

目 次

関係法令	3	学 内 諸 報	
学 内 規 則	3	◆ 学部長（教育学部，理学部，工学部） の改選	12
諸 会 議	7	◆ 退官記念最終講義	14
学 事		◆ 退職者説明会を開催	15
◆ 平成9年度入学者選抜学力検査（前期日程） を実施	8	◆ 海外渡航者	15
◆ 平成9年度文部省在外研究員派遣者の決定 ..	11	職 員 消 息	
◆ 平成9年度文部省内地研究員派遣者の決定 ..	11	◆ 住所変更	16
◆ 平成8年度民間等との共同研究受入れ状況 ..	11	主 要 行 事	16
人 事 異 動	12		

関 係 法 令**(府 令)**

○寒冷地手当支給規則の一部を改正する総理府令（総理6）（平9.2.28 官報第2086号）

(規 則)

○人事院規則9-49（調整手当）の一部を改正する人事院規則（人事院9-49-9）（平9.2.28 官報第2086号）

○人事院規則9-55（特地勤務手当等）の一部を改正する人事院規則（同9-55-40）（同上）

学 内 規 則**富山大学防災規則の制定****富山大学防災規則制定理由**

富山大学における地震、火災、豪雨等により生ずる災害を防止し、又は軽減し、災害が発生した場合における被害の拡大を防ぐとともに災害の復旧を図るための対策について、必要な事項を定める。

富山大学防災規則を次のとおり制定する。

平成9年2月21日

富山大学長 小 黒 千 足

富山大学防災規則

平成9年2月21日制定

第1章 総 則**(目 的)**

第1条 この規則は、富山大学（以下「本学」という。）における地震、火災、豪雨等により生ずる災害を防止し、又は軽減し、災害が発生した場合における被害の拡大を防ぐとともに災害の復旧を図るための対策（以下「防災」という。）について、必要な事項を定めることを目的とする。

(他の法令等との関係)

第2条 防災については、他の法令及び学内規則に別段の定めがある場合を除くほか、この規則の定めるところによる。

(定 義)

第3条 この規則において「部局」とは、事務局、学生部、学部、附属図書館、水素同位体機能研究センター、地域共同研究センター、生涯学習教育研究センター、総合情報処理センター及び保健管理センターをいう。

2 この規則において「部局長」とは、前項に規定する部局の長をいう。

(学長の責務)

第4条 学長は、職員、学生等の生命、身体及び教育研究施設等を災害から守るため、防災に関する必要な措置を講ずるものとする。

第2章 災害予防**(防災委員会)**

第5条 本学に、富山大学防災委員会（以下「防災委員

会」という。)を置く。

2 防災委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 防災についての全学的な施策に関する事項
- (2) 防災についての調査研究に関する事項
- (3) 防災についての連絡調整に関する事項
- (4) その他防災に関する重要事項

3 防災委員会は、学内の防災に関する対策状況を实地調査し、必要に応じて、指導、助言及び勧告を行うことができる。

(防災委員会の組織)

第6条 防災委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 各学部長
- (3) 各学部から選出された教授 各1人
- (4) 附属図書館長
- (5) 学生部長
- (6) 保健管理センター所長
- (7) 事務局長

2 前項第3号の委員は、学長が委嘱する。

3 第1項第3号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 防災委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

5 委員長は、防災委員会を招集し、その議長となる。

(専門委員会)

第7条 防災委員会に、必要に応じて、専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(庶務)

第8条 防災委員会の庶務は、経理部主計課において処理する。

(防災活動)

第9条 部局長は、次の各号に掲げる防災活動を実施するものとする。

- (1) 防災教育及び防災訓練
- (2) 施設、設備、土地、危険物等の安全対策
- (3) 情報の収集及び伝達方法の整備
- (4) 避難場所の整備その他避難対策
- (5) 飲料水、食料、医薬品等災害時に必要な物資の確保
- (6) 災害対策マニュアルの作成及び周知
- (7) その他防災に関する必要な事項

第3章 災害対策本部等の設置

(災害対策本部の設置)

第10条 学長は、重大な災害が発生し、又は発生が予想される場合は、富山大学災害対策本部（以下「災害対策本部」という。）を設置するものとする。

2 災害対策本部長は、各部局及び関係機関と連絡調整の上、災害対策業務を統括する。

3 災害対策本部の構成及び任務は、別表のとおりとする。

(部局災害対策本部等の設置)

第11条 部局長は、必要に応じ、当該部局に部局災害対策本部等を設置し、部局の災害対策業務に当たるものとする。

第4章 災害応急対策

(情報収集等)

第12条 部局長は、災害に関し、迅速に情報を収集するとともに、これを学長に報告するものとする。

2 部局長は、災害に対して執った措置を速やかに学長に報告しなければならない。

(避難等)

第13条 部局長は、職員、学生等の生命又は身体に危険が及ぶと予想される場合は、それらの者を避難させなければならない。

2 部局長は、被災した職員、学生等の避難場所として学内の安全な施設を可能な限り利用に供するものとする。

(安否の確認)

第14条 部局長は、職員、学生等の安否の確認を、速やかに行わなければならない。

(応急措置)

第15条 部局長は、災害による行方不明者及び負傷者の発見に努めるとともに、負傷者の救護に必要な措置を講じなければならない。

2 部局長は、災害の拡大を防止するために必要な応急措置を講じなければならない。

(職務遂行要員の確保)

第16条 部局長は、職務遂行可能な者の把握に努め、災害対策業務及び本来の職務を遂行する要員の確保に努めるものとする。

(避難住民の受入れ)

第17条 学長は、地方公共団体から緊急避難所として施設の提供の要請があった場合は、当該施設を管理する部局長と協議の上、可能な限り施設を提供するものとする。

2 部局長は、近隣の住民が緊急避難してきた場合には、

一時的に当該部局の適当な施設を緊急避難所として提供することができる。

(ライフラインの確保等)

第18条 学長は、電気、ガス、水道その他ライフラインの確保及び早期復旧に努めるものとする。

第5章 災害復旧

(災害復旧)

第19条 部局長は、速やかに教育研究活動を回復させるため、次の各号に掲げる事項の実施に努めるものとする。

- (1) 職員、学生等に対する勤務及び教育環境の整備
- (2) 施設、設備等の復旧
- (3) その他災害復旧に必要な措置

(二次災害の防止)

第20条 部局長は、災害復旧に当たっては、建物倒壊等のおそれのある危険区域の発見に努めるとともに、状況に応じて立入り禁止等の安全措置を講じ、二次災害の防止に努めるものとする。

第6章 雑 則

(雑 則)

第21条 この規則に定めるもののほか、この規則の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成9年2月21日から施行する。
- 2 この規則施行後最初に委嘱される第6条第1項第3号に規定する委員の任期は、第6条第3項の規定にかかわらず平成11年3月31日までとする。

別表 災害対策本部の構成及び任務

構 成		任 務
本 部 長	学長	災害対策本部の統括
副 本 部 長	事務局長 学生部長 保健管理センター所長	本部長の補佐
本 部 付	学部長 附属図書館長	本部長に対する災害対策全般に関する助言
班	班責任者	担当班員
渉 外 班	庶務部長	庶務部職員
財産対策班	経理部長	経理部職員
施設対策班	施設課長	施設課職員
学生対策班	学生部次長	学生部職員
医療・救護班	保健管理センター所長	保健管理センター職員
		(1) 学外諸機関との連絡、情報収集、広報に関すること。 (2) 職員(外国人研究者を含む。)の被災状況の調査に関すること。 (3) 避難住民の受入れに関すること。 (4) ボランティア活動との連携に関すること。
		(1) 財産(主に物品)の被災状況の調査に関すること。 (2) 災害に対する物資調達、救援物資の受入れ、管理に関すること。 (3) 学外への施設の提供に関すること。
		(1) 財産(主に土地、建物、工作物等)の被災状況の調査に関すること。 (2) 災害の拡大防止に関すること。 (3) 電気、水道等ライフラインの確保に関すること。
		(1) 学生(外国人留学生を含む。)の被災状況の調査に関すること。 (2) 寮生の被災状況の調査に関すること。 (3) 授業及び入学試験の円滑実施に関すること。
		救護、衛生に関すること。

(備考) 災害対策本部長は、学長に事故あるときは、前任学部長とする。

富山大学保健管理センター規則の一部改正

富山大学保健管理センター規則改正理由

- 1 学生相談員を廃止するため、所要の改正を行う。
- 2 字句の整備を行う。

富山大学保健管理センター規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成9年2月21日

富山大学長 小 黒 千 足

富山大学保健管理センター規則の一部を改正する規則

富山大学保健管理センター規則（昭和50年5月30日制定）の一部を次のように改正する。

第3条第2号を次のように改める。

(2)専任の教員

第3条中第3号を削り、第4号を第3号とし、第5号から第7号までを1号ずつ繰り上げる。

第4条の見出し中「教官」を「専任の教員」に改める。

第4条第2項中「センターの教授、助教授及び講師」を「専任の教員」に改め、同条第3項を削り、同条第4

項中「教官（第3条第2号の教官をいう。以下第6条第2号、第7条第3号及び第12条第1号において同じ。）」を「専任の教員」に改め、同項を同条第3項とする。

第6条中「教官」を「専任の教員」に改める。

第7条第1項第3号中「教官」を「専任の教員」に改め、同項第4号中「教官」を「教員」に改める。

第12条第1号中「教官」を「専任の教員」に改め、同条第2号中「教官」を「教員」に改める。

附 則

この規則は、平成9年2月21日から施行する。

富山大学保健管理センターの所長及び教官選考規則の一部改正

富山大学保健管理センターの所長及び教官選考規則改正理由

- 1 富山大学保健管理センター規則の一部改正に伴い、所要の改正を行う。
- 2 字句の整備を行う。

富山大学保健管理センターの所長及び教官選考規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成9年2月21日

富山大学長 小 黒 千 足

富山大学保健管理センターの所長及び
教官選考規則の一部を改正する規則

本則中「教官」を「教員」に改める。

第1条中「第4条第4項」を「第4条第3項」に改める。

富山大学保健管理センターの所長及び教官選考規則
(昭和50年5月30日制定)の一部を次のように改正する。

附 則

この規則は、平成9年2月21日から施行する。

題名中「教官」を「教員」に改める。



学生生活協議会及び学寮委員会の連絡会議(2月13日)

(議 題)

学生の諸問題について

次期学生部長候補適任者の選定について

第10回部局長懇談会(2月21日)

(議 題)

(1) 当面の諸問題について

(2) その他

第6回学寮委員会(2月13日)

(審議事項)

寮生からの要求事項について

第10回評議会(2月21日)

(審議事項)

(1) 富山大学防災規則の制定について(継続)

(2) 富山大学保健管理センター規則の一部改正について

(3) 富山大学保健管理センターの所長及び教官選考規則の一部改正について

(4) 次期学長候補者選挙日程(案)等について

(5) その他

第1回学長候補者選挙管理委員会(2月14日)

(議 題)

(1) 委員長選出について

(2) 次期学長候補者選考日程等(案)について

(3) 次期学長候補者選挙の公示(案)について

(4) その他

第2回学長候補者選挙管理委員会(2月21日)

(議 題)

(1) 第1回委員会記録の確認について

(2) 次期学長候補者選挙の期日等の公示について

(3) 次期学長候補者選挙に係る選挙資格者名簿について

(4) その他

第5回教務委員会(2月14日)

(審議事項)

(1) 富山大学学位規則の一部改正について

(2) 富山大学学生交流規則の一部改正について

(3) 富山大学研究生規則の一部改正について

第1回学生相談連絡会議(2月18日)

(議 題)

(1) 学生相談連絡会議の運営について

(2) その他

第4回就職連絡会議(2月21日)

(議 題)

(1) 平成9年度の就職活動について

(2) その他

第7回入学試験実施委員会(2月18日)

(審議事項)

(1) 平成9年度富山大学入学者選抜試験の検査場について

教務委員会及び学生生活協議会合同委員会(2月19日)

(審議事項)

第6回附属図書館商議会(2月24日)

(審議事項)

(1) 平成10年度歳出概算要求について

- (2) 富山大学附属図書館利用規則の一部改正(案)について
- (3) 富山大学附属図書館利用内則の一部改正(案)について
- (4) 富山大学附属図書館文献写金徴収猶予実施細目の一部改正(案)について
- (5) 平成9年度附属図書館開館日程(案)について
- (6) 特別図書購入費の配分について

第10回事務協議会(2月26日)
(議 題)

当面の諸課題について

第4回保健管理センター自己点検評価委員会(2月27日)
(議 題)

- (1) 本学の学生及び職員の保健管理に関すること(自己点検評価事項)について
- (2) 富山大学保健管理センター自己点検評価委員会内規の一部改正について
- (3) その他

第5回総合情報処理センター運営委員会(2月24日)

(審議事項)

- (1) 総合情報処理センター利用細則(案)について
- (2) 教育用端末室の管理体制(案)について
- (3) その他



平成9年度

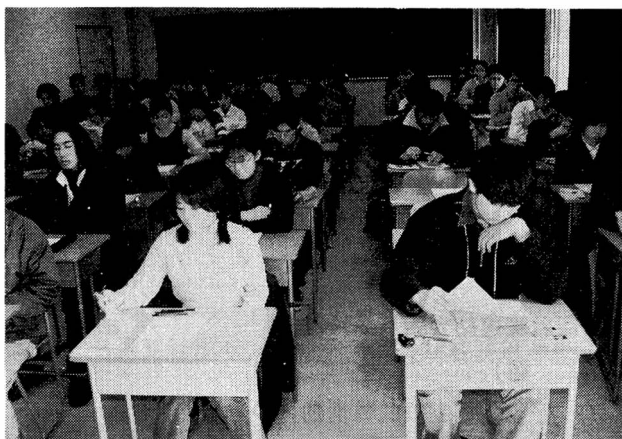
|| 富山大学入学者選抜学力検査(前期日程)を実施 ||

平成9年度入学者選抜前期日程の学力検査等が、去る2月25日(火)に各学部検査場で実施されました。

当日は、午前中好天に恵まれて交通機関の遅滞もなく、試験開始2時間前にはすでに受験生の姿が見え始め、受付開始の午前9時には、各学部入口の前は受験生でいっぱいとなり検査は予定どおり終了しました。

前期日程の受験志願者数(個別学力検査を課さない経済学部夜間主コースを除く。)は3,387人、受験者は3,186人(欠席者201人)で受験率は94.1%でした。また、私費外国人留学生も30人が受験しました。

なお、前・後期日程及び私費外国人留学生の入学志願者数は、次のとおりです。



▲ 緊張した表情で試験開始の合図を待つ受験生



▲ 試験を終え、ホッとした表情で試験場を後にする受験生

平成9年度入学志願者数調査

学部	学科・課程	平成9年度				平成8年度				備考				
		前期日程		後期日程		前期日程		後期日程						
		募集人員 (人)	志願者数 (人)	倍率 (倍)	募集人員 (人)	志願者数 (人)	倍率 (倍)	募集人員 (人)	志願者数 (人)					
人文学部	人文学科	49	220	4.5	15	170	11.3	64	390	6.1	4.1	10.1	5.5	
	国際化学科	34	128	3.8	12	104	8.7	46	232	5.0	3.7	9.4	5.3	
	言語化学科	57	270	4.7	20	239	12.0	77	509	6.6	2.9	4.3	3.3	
	学部計	140	618	4.4	47	513	10.9	187	1,131	6.0	3.5	7.4	4.5	
教育学部	小学校教員養成課程	60	152	2.5	25	128	5.1	85	280	3.3	1.5	5.5	2.7	
	中学校教員養成課程	21	90	4.3	10	205	20.5	31	295	9.5	5.0	29.9	13.3	
	養護学校教員養成課程	7	38	5.4	3	31	10.3	10	69	6.9	4.4	16.3	8.0	
	幼稚園教員養成課程	7	25	3.6	3	27	9.0	10	52	5.2	3.0	13.4	6.2	
	情報教育課程	13	31	2.4	5	41	8.2	18	72	4.0	3.2	9.0	5.1	
	環境教育課程	8	26	3.3	4	35	8.8	12	61	5.1	2.4	9.5	4.8	
	学部計	116	362	3.1	50	467	9.3	166	829	5.0	2.7	12.4	5.7	
	経済学部	経済学科	100	367	3.7	31	236	7.6	131	603	4.6	2.8	9.3	4.3
		経営学科	76	511	6.7	24	222	9.3	100	733	7.3	3.9	10.2	5.3
		経営法学科	64	277	4.3	20	179	9.0	84	456	5.4	6.0	10.8	7.0
学部計		240	1,155	4.8	75	637	8.5	315	1,792	5.7	4.0	10.0	5.3	
夜間経済学科		2	15	7.5	4	65	16.3	6	80	13.3	6.0	11.0	9.3	
夜間経営学科		2	13	6.5	5	83	16.6	7	96	13.7	11.0	10.6	10.7	
夜間経営法学科		2	17	8.5	5	89	17.8	7	106	15.1	5.0	10.0	8.6	
学部計		6	45	7.5	14	237	16.9	20	282	14.1	7.3	10.5	9.6	
理学部		数学科	246	1,200	4.9	89	874	9.8	335	2,074	6.2	4.1	10.1	5.6
		物理学科	29	105	3.6	7	33	4.7	36	138	3.8	4.2	3.9	4.1
	化学科	26	93	3.6	9	43	4.8	35	136	3.9	2.9	4.4	3.3	
	生物学科	29	82	2.8	8	42	5.3	37	124	3.4	3.1	7.3	4.0	
	地球科学科	31	123	4.0	6	32	5.3	37	155	4.2	3.9	7.7	4.5	
	生物圏環境科学科	30	95	3.2	9	52	5.8	39	147	3.8	3.6	10.6	4.8	
	学部計	164	553	3.4	44	258	11.2	208	811	4.6	3.6	6.9	4.2	
	工学部	電子情報工学科	124	335	2.7	36	234	6.5	160	569	3.6	3.1	5.1	3.6
		機械システム工学科	62	175	2.8	21	156	7.4	83	331	4.0	3.4	4.6	3.7
		物質工学科	49	96	2.0	16	102	6.4	65	198	3.0	5.0	5.1	5.0
化学生物工学科		48	76	1.6	16	69	4.3	64	145	2.3	5.6	5.1	5.5	
学部計		283	682	2.4	89	561	6.3	372	1,243	3.3	4.1	5.0	4.3	
電子情報工学科		2	8	4.0	-	-	-	2	8	4.0	-	-	-	
機械システム工学科		2	5	2.5	-	-	-	2	5	2.5	-	-	-	
物質工学科		2	4	2.0	-	-	-	2	4	2.0	-	-	-	
化学生物工学科		2	0	0.0	-	-	-	2	0	0.0	-	-	-	
学部計		8	17	2.1	-	-	-	8	17	2.1	-	-	-	
学部計	291	699	2.4	89	561	6.3	380	1,260	3.3	4.1	5.0	4.3		
合計	957	3,432	3.6	319	2,673	8.4	1,276	6,105	4.8	3.7	8.5	4.9		

平成9年度富山大学入学者選抜私費外国人留学生入学志願者数

区 分		志 願 者 数 (人)		備 考	
		平成9年度	平成8年度(参考)		
人文学部	人 文 学 科		2	3	
	国 際 文 化 学 科		4	2	
	言 語 文 化 学 科		6	8	
	計		12	13	
教育学部	小学校教員養成課程		0	0	
	中学校教員養成課程		0	2	
	養護学校教員養成課程		2	0	
	幼稚園教員養成課程		0	0	
	情報教育 課程	教育情報コース	0	2	
		環境情報コース	0	0	
	計		2	4	
経済学部	昼間主 コース	経 済 学 科	6	11	
		経 営 学 科	12	16	
		経 営 法 学 科	1	3	
		計	19	30	
理学部	数 学 科		0	0	
	物 理 学 科		0	0	
	化 学 科		0	0	
	生 物 学 科		0	0	
	地 球 科 学 科		0	0	
	生 物 圏 環 境 科 学 科		1	0	
	計		1	0	
工学部	電 子 情 報 工 学 科		8	14	
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科		2	5	
	物 質 工 学 科		1	0	
	化 学 生 物 工 学 科		0	1	
	計		11	20	
合 計		45	67		

志願者総数45人の国籍別内訳

中国 22人, マレーシア 12人, 韓国 5人, 台湾 6人

平成9年度 文部省在外研究員派遣者の決定

種 類	所 属	職 名	氏 名	主たる滞在地及び当該滞在地の属する国名並びに派遣先の機関名	調 査 研 究 題 目	派遣期間
長期(甲)	教育学部	助教授	後 藤 敏 伸	ストックホルム (スウェーデン) 王立美術大学	都市環境における造形に関する研究	9.10.1 / 10.7.31
	経済学部	教 授	菊 田 健 作	サザンプトン (連合王国) サザンプトン大学	ゲーム理論とその応用に関する研究	9.4.15 / 9.11.15
短 期	教育学部	教 授	丹 羽 洋 介	マドリッド (スペイン) 国立プラド美術館	先史壁画及び現代壁画運動に関する研究	9.8.7 / 9.10.4
	理学部	教 授	鈴 木 邦 雄	ワシントン (アメリカ合衆国) スミソニアン研究所	ハムシ科トビハムシ亜科の上級分類に関する研究	9.7.2 / 9.9.1
	工学部	教 授	岩 城 敏 博	ウィーン (オーストリア) ウィーン工科大学	凝固過程における格子欠陥発生機構に関する研究	9.5.9 / 9.7.8

平成9年度 文部省内地研究員派遣者の決定

所 属	職 名	氏 名	受 入 機 関	研 究 題 目	研究期間
経済学部	講 師	大 坂 洋	神 戸 大 学 経 済 学 部	契約理論の企業・金融制度への応用および契約関係の金融労働システムにおける意味	9.5.1 / 9.10.31

平成8年度 民間等との共同研究受入れ一覧

平成8年10月～9年3月

区分	研 究 題 目	民 間 機 関 名	大学側研究代表者
B	押出材の変形が発生しない工具設計に関する研究	住友軽金属工業株式会社	工学部 教 授 時澤 貢
〃	ポリマー磚子の電気特性・耐候性に関する研究	北陸電力株式会社	工学部 教 授 池田 長康
〃	室内実験による雷雲の電気構造に関する研究	北陸電力株式会社地域総合研究所	工学部 教 授 池田 長康

〔平成8年度受入総数〕区分A：4件，区分B：31件，区分C：1件，計：36件

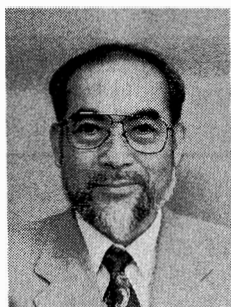
人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 ・ 官 職	異 動 内 容
退 職	9. 2. 21	岩 城 時代美	事務補佐員（附属図書館情報サービス課）	平成9年2月20日限り退職した
	〃	深 谷 信	〃（ 〃 ）	〃
	〃	大 岸 里 美	〃（ 〃 ）	〃
	〃	尾 下 成 敏	〃（ 〃 ）	〃
	〃	西 村 憲 一	〃（ 〃 ）	〃
	〃	近 藤 俊 彦	〃（ 〃 ）	〃
	9. 3. 1	澤 瀉 いづみ	教務補佐員（人文学部・理学部）	平成9年2月28日限り退職した
	〃	土 田 祐 知	技術補佐員（総合情報処理センター）	〃
	〃	室 谷 智	〃（ 〃 ）	〃
	〃	杉 本 圭 優	〃（ 〃 ）	〃
〃	知 念 賢 司	〃（ 〃 ）	〃	

学 内 諸 報

学 部 長 の 改 選

＜ 教 育 学 部 長 に 田 中 教 授 を 再 選 ＞



田中晋教育学部長の任期が、平成9年3月30日で満了することに伴い、去る2月12日(水)開催の教育学部教授会において、次期学部長候補者の選挙を行いました。

その結果、田中晋教授が再選されました。任期は、平成9年3月31日から2年間。

田中教授は、昭和37年3月東京教育大学理学部を卒業、同39年3月京都大学大学院理学研究科修士課程を修了、同42年3月京都大学大学院理学研究科博士課程を単位取得退学後、同年4月富山大学教育学部講師、同45年4月同助教授、同57年7月同教授となり、平成7年3月から教育学部長を併任され、現在に至っています。

専門は生物学。理学博士（金沢大学）

東京都出身

（就任の抱負）

「変わるぞ！教育学部」、これは学部改革を外側へアピールするパンフレットの表紙に書かれているフレーズです。平成9年度から従来の5課程が、学校教育教員養成課程と総合教育課程の2課程に再編され、カリキュラムも大きく変わります。教育学部をめぐる厳しい状況を打破するために、全学部の御協力を得て、また、学部としては大きな痛みを伴った改革となりましたが、成功に導くため全力をあげて努力する所存です。とは言いまでも、平成8年度の入学生までは旧の課程で動いていきますので、この移行期間は複雑なことになります。教育学部の教職員はもちろんのこと、全学をあげて引き続き御支援御協力をいただけますようお願いいたします。

＜理学部長に風巻教授を再選＞



風巻紀彦理学部長の任期が、平成9年3月31日で満了することに伴い、理学部教授会は、去る2月12日(水)に次期学部長候補者の選挙を行いました。

その結果、風巻紀彦教授が再選されました。任期は、平成9

年4月1日から2年間。

風巻教授は、昭和40年3月北海道教育大学数学科を卒業、同42年3月東北大学大学院理学研究科修士課程を修了後、東北大学理学部助手、同48年4月同教養部助教授、同53年4月富山大学理学部教授となり、現在に至っています。なお、この間、平成2年4月から同4年3月まで保健管理センター所長、平成3年4月から評議員、さらに平成7年4月から理学部長、平成7年6月から水素同位体機能研究センター長を併任されています。

専門は確率論。理学博士（東北大学）

北海道出身

（就任の抱負）

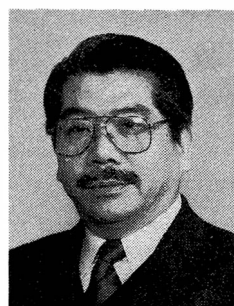
むかし、東北大学で助手をしていた頃、純粹に数学者として人生を全うすることを理想としていましたので、理学部長の姿を見て、「あれじゃ、研究者としておしまいだな…」などと生意気なことを言っていたものです。

それが何の因果か理学部長になってしまいました。当然、学部長としての力量は、初めからありません。1期目は、先輩や同僚の先生方それに事務職員の皆様に支えていただきながら、どうにかこうにか終わることができそうですが、これからさらに2年間学部長としての務めを無難にこなして行けるかどうか、正直なところ不安な思いを隠しきれません。その上、教育改革に対する総括的見直しや大学院改革としての理工系ドクターコース設置の問題、老朽化・狭隘化に伴う理学部校舎改築の問題など、待ったなしに解決を求められております。

特に、理工系ドクターコースの件は、工学部のご理解を頂きながら、大急ぎで取り組む必要があります。と言いますのは、理学部を保有する国立大学32校中設置済みが24校、その他3校（鳥根大学、弘前大学、高知大学）は、まず理学部を理工系学部に転換して後はドクターコース設置まで一直線という別ルートをとり、しかも、鹿児島大学と琉球大学がどうやら今度の予算要求で設置が認められる可能性が大きいということで、実質的に残るのは富山大学、山形大学、信州大学だけとなり、平成10年度に概算要求していかねばならないと考えます。

上に述べた問題はいずれも、難しいけれども夢がありますので、皆様の御協力を頂きながら、これからの2年間で決着をつけるべく全力で努力するつもりでおります。どうぞ、よろしく願いいたします。

＜工学部長に宮下教授を選出＞



時澤貢工学部長の任期が、平成9年4月1日で満了することに伴い、工学部教授会は、去る2月12日(水)に次期学部長候補者の選挙を行いました。

その結果、宮下尚教授が選出されました。任期は、平成9年

4月2日から2年間。

宮下教授は、昭和36年3月同志社大学工学部を卒業後、同年5月京都大学助手、同43年4月富山大学工学部助教授、同62年4月同教授となり、現在に至っています。なお、平成6年4月から評議員を併任されています。

専門は移動現象（伝熱工学）。工学博士（京都大学）

富山県出身

（就任の抱負）

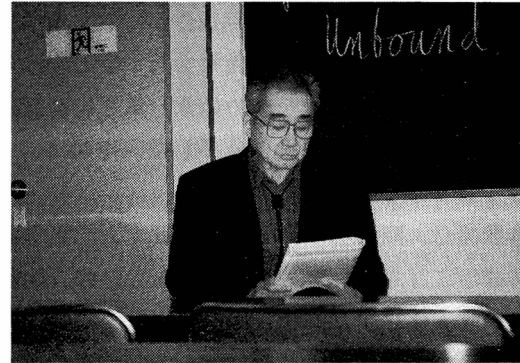
工学部が学科改組を行ってから4年が経過した。その間も、科学技術の発展は日進月歩であり、これに対応するため、本年4月再改組を行った。また、工学研究科博士後期課程が、15名の博士（工学）を初めて世に送り出した。ホツとしている間もなく工学研究科を改組し、博士課程の拡充を主として理学部とともに推し進めることとなった。学部を越えての改革であり、重責を痛感している。

工学部が将来に夢や目標を抱き、創造性とチャレンジ精神を存分に発揮できるフレッシュな若者を世に送り出すには、教育・研究、管理・運営の環境はいまだ充分とは言えないと思う。その整備に少しでも貢献できればと願っている。

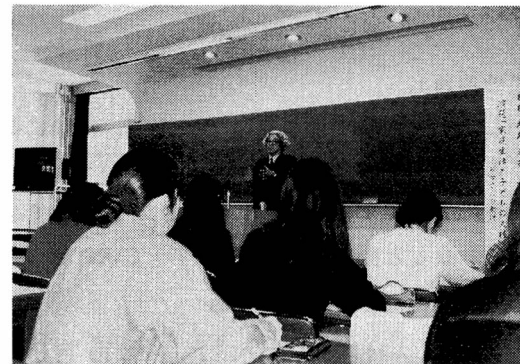
退官記念最終講義

御退官される下記教官の最終講義が行われ、多数の学生・教職員等が終始熱心に聴講しました。

- 人文学部 奥田平八郎 教授
2月3日(月) 10:45~12:15
人文学部第二校舎104講義室
「ロマン主義について」



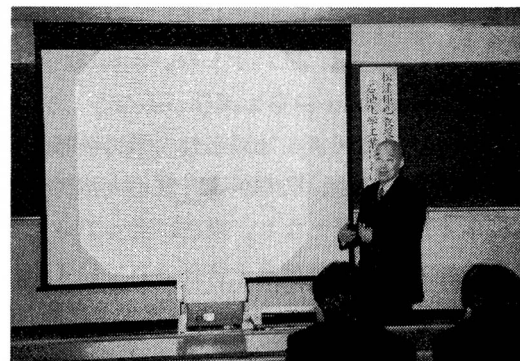
- 教育学部 吉田和夫 教授
2月7日(金) 15:00~16:30
黒田講堂
「クレヴカールのアメリカ」



- 教育学部 松村晴路 教授
2月19日(水) 15:00~16:30
教育学部第3棟14番教室
「家庭生活と子どもの人権」
—お母さんの条件—



- 教育学部 岸井勇雄 教授
2月28日(金) 15:00~16:30
教育学部第1棟5番教室
「ひとつのいのち」



- 理学部 松浦郁也 教授
2月13日(木) 15:00~16:30
理学部2号館10番教室
「石油化学工業における酸化反応触媒」

退職者説明会を開催

去る2月14日黒田講堂において、退職者説明会が開催されました。

この説明会は、今年度定（停）年退職予定者を対象として、退職後の生活設計の一助になればと計画したもので、退職金・退職共済年金や退職後の医療保険制度に関する説明、また、貯蓄と資産の運用及び健康管理についての話があり、16名の出席者は、熱心にメモを取りながら聴講し、多くの質問も出され、大変有意義な説明会となりました。



▲ 熱心に聴講する出席者

海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	理学部	助教授	酒井 英男	ロシア連邦	バイカル湖での研究に関する打合せ	9. 2. 26
						9. 3. 5
海外研修	人文学部	外国人教師	ロゴズナヤ・ニーナ	ロシア連邦	「外国人に対するロシア語教授法」に関する情報交換及び資料収集	9. 2. 5 9. 2. 19
	経済学部	助教授	小畑 史子	デンマーク	「企業の社会的責任」に関する国際シンクタンク会議に出席、資料収集	9. 2. 5 9. 2. 14
	人文学部	外国人教師	彭 国躍	中華人民共和国	漢代における敬語等に関する資料調査	9. 2. 8 9. 2. 26
	〃	外国人教師	ローベ・ザビーネ・エーデイト	ドイツ	ドレスデン工業大学、パッソウ大学における研究打合せ及び資料収集	9. 2. 12 9. 3. 15
	経済学部	教授	中藤 康俊	大韓民国	日韓経済協力のあり方に関する共同研究	9. 2. 12 9. 2. 14
	人文学部	外国人教師	キャレン・フェダーフォルト	連合王国	学習戦略と談話分析に関する資料収集	9. 2. 16 9. 3. 24
	〃	助教授	岩井 瑞枝	フランス	ルネサンス及びマニエリズム版画関係資料の収集及び調査	9. 2. 26 9. 4. 9
	教育学部	助教授	市川 文彦	香港	第2次アジア経済会議に出席	9. 2. 26 9. 3. 2

職 員 消 息

〈住所変更〉

部局名	官職	氏名
学 生 部	文部事務官 (学生課・学生係)	大 門 聡
教 育 学 部	助 教 授 (環境科学)	横 畑 泰 志
工 学 部	教 授 (機械情報システム工学)	吉 川 和 男

主 要 行 事

本 部

- 2月3日 総合評価基準等作成に関する説明会（東京医科歯科大学）
- 5日 組織見直しヒアリング（文部省）
- 5日～12日 学内会計監査
- 7日 平成8年度国立大学学生部長会議（東海大学
校友会館）
推薦入学（人文学部）合格者発表
- 10日 第4回教養教育委員会管理運営専門委員会
- 14日 退職者説明会
- 17日 推薦入学等入学手続
- 18日 第8回国際交流委員会留学生部会
R連盟ボーリング大会（ゴールドンボール）
- 20日 動態統計調査説明会（石川厚生年金会館）
第7回教務委員会専門委員会
警察官採用試験説明会
- 24日 第6回自己点検評価委員会管理運営専門委員会
- 25日 平成9年度入学者選抜学力検査（前期日程）
- 25日～26日 給与実務担当者研修会（人事院中部事務局）
- 27日 任用担当官会議（人事院中部事務局）
- 28日 第5回自己点検評価委員会研究活動等専門委員会
第5回教養教育委員会管理運営専門委員会
契約手続きに関する説明会（東京医科歯科大学）

人 文 学 部

- 2月4日 予算委員会
- 5日 教授会
教授会（人事）
学部長候補者選挙管理委員会
- 6日 学部公開講座委員会
- 10日 学部長候補者選挙管理委員会
- 12日 学部教務委員会
- 14日 学部情報処理委員会
- 18日 予算委員会
- 19日 教授会
教授会（人事）
大学院人文科学研究科委員会
- 21日 人文科学研究科教務等検討委員会
- 26日 学部将来計画委員会

教 育 学 部

- 2月2日 附属中学校第一次選考（学力検査）
- 5日 教育学研究科委員会小委員会
予算委員会
附属小学校第二次選考（抽選）
- 6日 教育実習検討委員会
学生生活委員会
附属中学校第二次選考（抽選）

- 7日 日本教育大学協会理事会（東京学芸大学）
 12日 教務委員会
 学部長候補者選挙
 教授会
 人事教授会
 19日 就職指導委員会
 28日 予算委員会

経済学部

- 2月4日 大学院経済学研究科委員会小委員会
 5日 学部教務委員会
 学部留学生委員会
 人事教授会
 大学院経済学研究科委員会
 教授会
 7日 学部図書委員会
 就職ガイダンス
 12日 広報委員会
 13日 学部学生生活委員会
 17日 学部教務委員会
 日本海経済研究所運営委員会
 財務委員会
 18日 大学院経済学研究科委員会小委員会
 19日 人事教授会
 大学院経済学研究科委員会
 教授会

理学部

- 2月5日 自然科学研究科設置準備委員会（仮称）ワーキンググループ代表者打合せ会
 10日 学部案内編纂委員会
 12日 教授会
 大学院理学研究科委員会
 人事教授会
 17日 予算委員会
 19日 学部教務委員会
 24日 自然科学研究科設置準備委員会（仮称）
 27日 自然科学研究科設置準備委員会（仮称）ワーキンググループ代表者打合せ会

工学部

- 2月5日 自然科学研究科設置準備委員会（仮称）ワーキンググループ代表者打合せ会
 7日 学部教務委員会
 12日 教授会（学部長選挙）
 研究科委員会
 専任教授会
 博士後期課程委員会
 14日 自然科学研究科設置申請に係る事務局との打合せ
 17日 学部教務委員会及び学生生活委員会合同委員会
 教官懇談会
 19日 文部省ヒアリング（自然科学研究科設置申請）
 20日 博士後期課程委員会
 専任教授会
 21日 入学試験（一般選抜）事務系説明会
 24日 学部施設整備委員会
 自然科学研究科設置準備委員会（仮称）
 26日 学部運営委員会
 教授会（評議員補欠選挙）
 博士後期課程委員会
 教官懇談会
 27日 学部教務委員会
 温交会役員会
 自然科学研究科設置準備委員会（仮称）ワーキンググループ代表者打合せ会
 28日 博士後期課程委員会
 専任教授会

附属図書館

2月24日～5月5日（本館）臨時休館

地域共同研究センター

2月14日 材料部会第10回研究発表会
 28日 先端技術講演会

生涯学習教育研究センター

2月17日 第3回生涯学習教育研究センター公開講座専門委員会

編 集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 あけぼの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電話(24)1755(代)